

評価の仕組みについて

資料 7

評価方法

整理番号	部会名	指摘箇所	指摘事項等
1	第1・3部会	チャレンジ	「チャレンジ！！」は各施策が目指すべき姿ということだが、進行状況も捉えにくく評価の対象とするのは難しいので、評価の仕方を見直した方が良いのでは。
2	第2部会	目標	「電子申請の件数」はイベント等の特異な要素によって実績値が左右されるので、「全体の申請の何割が電子申請だったか」のような「割合」を目標値とした方が、電子申請の普及度合いを把握するためには、良いのではないか。
3	第2部会	目標	林業、工業等の項目で実績値の統計数値が公表されていないため、評価ができなかった。この間がどうだったのかを分析しないと、次の10年どうしていくのか、チャレンジが本当に的確なのかが曖昧になってしまうので、「集計中」ではなく何らかの方法で明らかにすることが必要。